STOP THE LONELINESS
誰もがひとりぼっちにならない社会へ

皆繋 ミナツナギ

しおかぜコバルトブルービーチ@角島

認定NPO法人 皆繋　2022年度

年次活動報告書

MINATSUNAGI ANNUAL REPORT 2022
（2022年5月～2023年4月）

君のそばに、
君がそばに。

皆繋について・ご挨拶 3
2022年度皆繋活動報告 4
新たな取組 5
体験格差解消事業「子どもの非認知能力向上プログラム」 6
子どもの居場所「包摂的地域交流拠点　ICS 垢田家」 7
実践型社会貢献教育プログラム「レモネードプロジェクト」 8
クリスマス機会格差解消事業「オレンジサンタプロジェクト®」 9
国の動向 10
メディア・講演・広報活動 11
パートナーシップ 12
2022年度皆繋収支報告 14
皆繋の歩み ／ 役員紹介 15

ひとりぼっちにならない
社会の実現を

皆繋は、
みんなを繋ぎ、社会的孤立から守る
認定NPO法人です

ー展望ー VISION

誰もが社会的排除や放置を受けず、ひとりぼっちにならない社会の実現

ー使命ー MISSION

社会的孤立に陥るあらゆる社会課題の解決

ー戦略ー TACTICS

地域における新しい「助け合い」システムの構築

福祉と経済成長を紐づける「構造改革」のけん引

社会問題の真因と企業を繋ぐ「調査提言活動」の実施

ご挨拶

日頃より、”社会的孤立をなくす”皆繋の活動にご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウィルスの蔓延に脅かされていた私達の日常も、やっと平穏を取り戻し始めました。マスクを外して満面の笑みで遊ぶ子どもたちの姿を見られることに、しみじみと幸せを感じます。

2022年度は、まだまだ制限のある中でのスタートでしたが、予防に配慮しながら徐々に通常の活動を行えるようになって参りました。
実践型社会貢献教育プログラム『レモネードプロジェクト』、クリスマス機会格差解消支援『オレンジサンタプロジェクト®』を無事に開催することができ、支援の輪が拡がりました。
2022年3月30日に開所した包摂的地域交流拠点『ICS垢田家』は、お陰様で1周年を迎えることができました。垢田家には、地域住民の皆さまだけでなく、他の地域からも支援に訪れてくださり、皆様のお陰で、子どもたちは順調に「生き抜く力」を育んでいます。

私たちはこれから更に、一度きりの子ども時代に人間力の基礎を築くコミュニケーション機会を積み上げられるよう一人ひとりに寄り添い、『誰もがひとりぼっちにならない社会の実現』に向け努めて参ります。
今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

認定NPO法人皆繋
代表理事　林　陽一郎

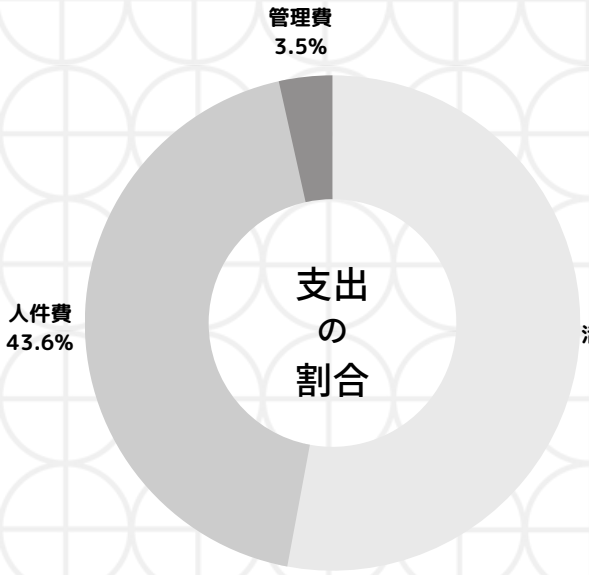
2022年度（2022年5月～2023年4月）皆繋活動報告

支援した子どもの延べ人数

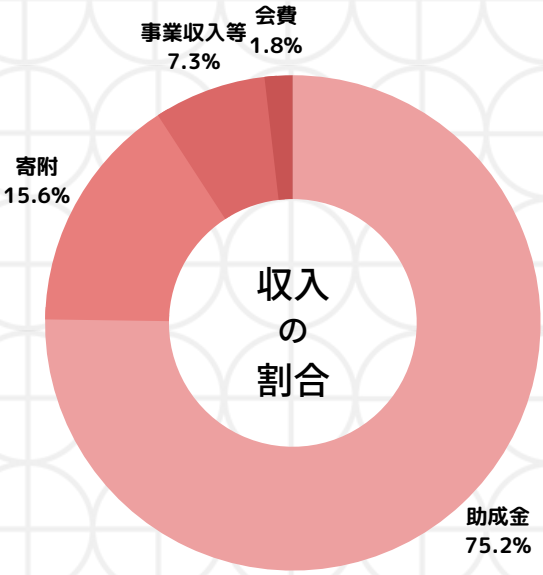
3,692 名

活動の収支

支出：15,209,401円



収入：12,835,983円



2022年度においても引き続き新型コロナウィルスの蔓延により、度々イベントなどの活動の自粛や施設の閉所を余儀なくされることにはなりましたが、「子ども第三の居場所『ICS 垢田家』」は、皆様よりいただいた温かいご支援により、無事に開所1周年を迎えることができました。地域の方々からのご支援や交流も増え、包摂的地域交流拠点としての基盤が少しずつ整ってきていると感じております。大人も子どもも、みんなで、地域とともに、健やかに生き抜く力の育まれる環境が、国全体に拡がって欲しいと願っております。

2022年
10月～

WELCOME BABY PROJECT

下関市内、山口県内で誕生した赤ちゃんにIKEA様より寄贈いただいたベビーベッドをプレゼントしました。

下関市内の企業様のご協力をいただき、『子育て支援クーポン』をベビーベッドと併せて配布しました。

＜協力企業＞
旭新運輸開発株式会社 山陽小野田営業所（配送）
株式会社カラーズアンド(Clors&Rosso)
有限会社村田豊商店　末次ふとん店
ヤマカ醤油株式会社　韓国子供服PiPi
城下町長府整骨院・整体院
tearoom Liz 旧下関英国領事館
一般社団法人メディカルアロマリンパケア協会

2022年10月～2023年4月

赤ちゃんに支援したベビーベッドの数

計 549 台

（寄贈数：900台）

2022年
7月～

下関市
子どもの居場所支援事業

下関市と業務委託契約
事業開始

2023年
3月

下関市・日本財団・皆繋
『子どもの未来応援研修会』
三者連携で開催

@ふくふくこども館

2022年度
新たな取り組み

今年度は、これまで以上に多くの企業様や団体様のご支援をいただき、子どもたちへのより多角的な支援に繋げることができました。心より感謝申し上げます。

2022年
8月～

林兼産業株式会社・皆繋
連携協定を締結

下関市内の子ども食堂へ
食材支援を開始

提供内容

ベーコン、ウィンナーなど
毎月40kg

支援を届けた子ども食堂数

30団体

下関のフットボールチーム「FCバレイン下関」のご協力で、チームバスの送迎です。

子どもの非認知能力を高める

プログラムの実践と効果測定

体験格差解消事業

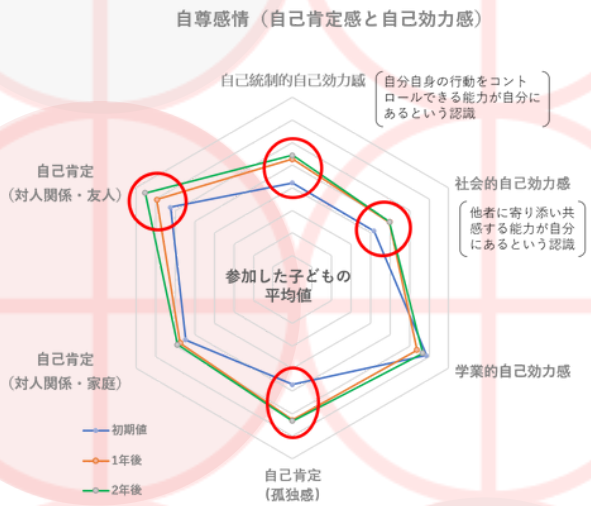
プロジェクト豊夢

スポーツ選手との交流も、子どもたちの大切な経験となりました。

2022年10月

「プロジェクト豊夢」は、ひとり親家庭を対象に一泊二日のキャンプ体験を3年計画で実施するプロジェクトです。公益財団法人B&G財団の助成で2020年よりNPO法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブが運営しています。

皆繋は、子どもの生き抜く力を育み社会的孤立をなくすには、高齢者に介護度の評価基準があるように、子どもにも見守りや支援の評価基準があるべきと考えます。
このプロジェクトでは、皆繋が作成した子どもの非認知能力を高めるプログラムを実施。3年目の今年度は、最後の効果測定となりました。初年度と比較して、親子ともに、非認知能力の向上が認められました。



7月　夏祭り

8月　デイキャンプ

10月　ハロウィン

12月　クリスマス

1月　新年会

2月　節分

3月　進級・進学

4月　たけのこ掘り

あかだは

垢田家

「子どもの居場所」
包摂的地域交流拠点

2023年3月
1周年

『みんなの家、ICS垢田家』は、地域のあらゆる立場の大人でネットワークを形成し子どもの成長に関わり、子どもがこれからの社会を健やかに築いていくくための”生き抜く力”を育む包摂的地域交流拠点です。日本財団の助成を受け、2022年3月の開所しました。

以来、皆様からの物心両面の温かいご支援により、子どもたちは健やかに成長しております。

年間を通じ多くの団体様が携わり、垢田家の子どもたちに様々な体験の機会をいただいています。

＜協力団体＞
劇団はぐるま座　武団ひまわり会
夢ロゴアートインストラクターやいやい
NPO法人コバルトブルー
　下関ライフセービングクラブ
公立大学法人下関市立大学（学生）
山口県立長府高等学校（学生）
山口県立下関西高等学校（学生）

非認知能力の向上

生活支援

学習支援

食事提供数

2079 食

支援した子どもの人数

延べ 2336 人

プロジェクトの対象は小学5、6年生。企業様のご協力で、『経済活動の社会的効果と金融機関の役割、企業の社会貢献』についての講座を行い、キャリアについて学びます。

＜協力企業＞
明治安田生命保険相互会社 下関営業所
西中国信用金庫 かじくり支店
大和証券株式会社 下関支社

レモネードプロジェクトとは、「子どもから社会にアクションを起こし、社会をかえていくきっかけをつくる」という理念のもと、社会貢献について子どもたちが主体的に考え、体験し、楽しみながら活動する実践型のプログラムです。レモネードの販売を通じ、子どもの人格的な成長やキャリア教育を目指すとともに、それぞれが社会における「存在意義」について確認する機会となり、かけがえのない子ども時代に「社会の課題に目を向ける力」「主体的に行動に移す力」「社会を少しでもよくできる感覚」を体感します。

LEMONADE PROJECT
Changing society from a cup of lemonade

金融×キャリア×社会貢献
実践型社会貢献教育プログラム

今回、子どもたちが目を向けた社会課題は、海洋プラスチックごみ問題。自分たちで作ったレモネードを販売し、その利益を角島で漂着ゴミ問題に取り組むコバルトブルー下関ライフセービングクラブに寄附しました。

レモネード販売数：285杯
売上：85,500円　経費：19,994円
利益（寄附額）：65,506円

一度でいい
子ども時代に
忘れられない
幸せなクリスマスを過ごす

オレンジサンタが贈るのは
クリスマスパーティー

大きな愛を受け取る大切な日

この日受け取った愛情は
人格の土台となり
生き抜く力の源となって
子どもを生涯にわたり
守り続けます

子どもたちから
オレンジサンタさんへの手紙

お絵かきムービー

協賛・協力企業からの
プレゼント

オレンジサンタプロジェクト

クリスマス機会格差解消支援
プロジェクト

2022年12月
開催エリア：東京都足立区

まずは、今年度も全国のオレンジサンタからのご支援により、プロジェクトを無事に開催できましたこと、心より感謝申し上げます。

オレンジサンタは、子どもが一番待っているあの赤いサンタクロースをサポートする、ちょっと色の薄いサンタです。
オレンジサンタのプレゼントはクリスマスパーティの1日ですが、そこには『全ての子どもが、生まれ育った環境に左右されることなく、社会を健全に生き抜く力を育む機会（愛を受け取る大切な1日）を与えられて欲しい』という願いが込められています。

クリスマスは、全国どの家庭にも同時に訪れます。そのため、他者と比較しやすく、家庭環境の格差を目の当たりにする機会となってしまいます。したがって、この活動を全国に拡げることには大きな意義があります。この度、東京都の企業のご支援ご協力によって開催が実現し、その確かな一歩となりました。

支援家庭数

計 400 家庭

ディナーセット：100家庭
商品券：300家庭

支援した子どもの人数

計 785 人

足立区のオレンジサンタ（企業）

日本カニゼン株式会社
株式会社大昌運輸

協賛・協力企業

株式会社ライフコーポレーション
大塚製薬株式会社
山崎製パン株式会社

国の動向

こども家庭庁の発足・こども基本法の施行（2023年4月1日）

こども家庭庁は、我が国の大きな問題であり今後さらに深刻化する少子化への対策と、児童虐待やいじめ、貧困など、こどもに関するさまざまな問題に包括的に取り組むために発足しました。こども・若者がぶつかるさまざまな課題を解決し、大人が中心になって作ってきた社会を「こどもまんなか社会」（すべてのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会）へと作り変えていくため、これまでの厚生労働省や内閣府の関係部署（保育、児童虐待の対策、母子保健、子育て支援、少子化対策）が一元化され地方自治体職員や民間企業からの人材も加わり、こども政策の司令塔としての役割を担います。主役であるこどもの意見を取り入れ、こどもにとって最もよいことは何かを考えて政策に反映し、こどもや子育てしている人たちの困っていることに向き合い、いざというときに守るための仕組みをつくることを掲げています。

1．こどもの視点に立った司令塔機能の発揮、こども基本法の着実な施行
こども大綱の推進／こども基本法／こどもの意見聴取と政策への反映／「こども若者★いけんぷらす」／こどもデータ連携実証事業／国際関係

2．こどもが健やかで安全・安心に成長できる環境の提供
子ども・子育て支援制度／保育／こどもの居場所づくり／こども・若者育成支援／こどもの安全／青少年の安全で安心な社会環境の整備

3．結婚・妊娠・出産・子育てに夢や希望を感じられる社会の実現、少子化の克服
少子化対策／母子保健・不妊症・不育症など／妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施／科学研究事業

4．成育環境にかかわらず誰一人取り残すことなく健やかな成長を保障
児童虐待防止対策／社会的養護／ひとり親家庭等関係／障害児支援／いじめ防止対策／こどもの貧困対策／ヤングケアラー／こどもの自殺対策

皆繋が運営する『ICS垢田家』は、こども家庭庁が上記2に掲げた政策のうち「こどもの居場所づくり」を実践している包摂的地域交流拠点です。こども家庭庁は「全てのこどもが、安全で安心して過ごせる多くの居場所を持ちながら、様々な学びや、社会で生き抜く力を得るための糧となる多様な体験活動や外遊びの機会に接することができ、自己肯定感や自己有用感を高め、幸せな状態（Well-being）で成長し、社会で活躍していけるようにすることが重要である。こども家庭庁では、『こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）』を閣議決定し、これに基づいてこどもの居場所づくりを推進する。」と発信しています。

皆繋が実施する『オレンジサンタプロジェクト』は、こども家庭庁が上記4に掲げた政策のうち「こどもの貧困対策」にあたる活動です。こども家庭庁は、「日本には、生まれ育った家庭やさまざまな事情から、健やかな成長に必要な生活環境や教育の機会が確保されていないこどもがいる。全てのこどもたちが、生まれ育った環境に関わらず、夢や希望を持つことができる社会を実現するため、こども家庭庁では、関係省庁と連携しながら、こうした「こどもの貧困」の解消に向けた総合的な取組を行う。」と発信しています。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約（子どもの権利を定めた国際条約）の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

こども施策の６つの基本理念

1　すべてのこどもは大切にされ、
基本的な人権が守られ、差別されないこと。

2　すべてのこどもは、大事に育てられ、
生活が守られ、愛され、保護される権利が
守られ、平等に教育を受けられること。

3　年齢や発達の程度により、
自分に直接関係することに意見を言えたり、
社会のさまざまな活動に参加できること。

4　すべてのこどもは年齢や発達の程度に応じて、
意見が尊重され、こどもの今とこれからにとって
最もよいことが優先して考えられること。

5　子育ては家庭を基本としながら、そのサポートが
十分に行われ、家庭で育つことが難しいこどもも、
家庭と同様の環境が確保されること。

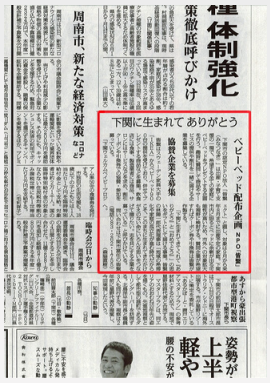
6　家庭や子育てに夢を持ち、
喜びを感じられる社会をつくること。

メディア・講演 広報活動

TV

yab Jチャンやまぐち
2022.8.8

NEWS 新聞



山口新聞 2022.7.16

山口新聞 2022.7.18

朝日新聞 2022.8.24

講演

2022.7.8	アクセンチュア株式会社ランチ講演会
2022.8.29	下関市子どもの居場所支援事業 子どもの未来応援連携会議
2022.10.23	豊浦地区まちづくり協議会 地域における新しい助け合い～地域交流拠点を通して～
2023.1.30	周南市子どもの明るい未来サポート事業 地域の担い手育成研修
2023.3.16	下関圏域生活支援協議会
2023.3.30	下関市子どもの居場所支援事業 子どもの未来応援ネットワーク研修会

ニュースレター

2022.冬号

2023.春号

オレンジサンタプロジェクト お絵かきムービー

パートナーシップ

2022年度

明治安田生命保険相互会社下関営業所の皆様
レモネードプロジェクトにて

林兼産業株式会社 中部哲二社長
連携協定及び贈呈式にて

■サービス協力等企業・団体

明治安田生命保険相互会社下関営業所　林兼産業株式会社　株式会社壱番屋
大和証券株式会社下関支社　西中国信用金庫かじくり支店
公益財団法人B&G財団　NPO法人コバルトブルー下関ライフセービングクラブ
旭新運輸開発株式会社山陽小野田営業所　武団ひまわり会　劇団はぐるま座
垢田自治連合会　垢田小学校地域応援団てらこや　有限会社幸ふく
大塚製薬株式会社　山崎製パン株式会社　株式会社ライフコーポレーション
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社　株式会社保険クリエイト
株式会社エデュケーショナルネットワーク　株式会社地域情報新聞しものせき
合同会社つなぎ　THREE ARROW CAFE（美祢グランドホテル）
株式会社カラーズアンド（Clors&Rosso）　有限会社村田豊商店　末次ふとん店
ヤマカ醤油株式会社　城下町長府整骨院・整体院　韓国子供服PiPi
株式会社プランドゥ（tearoom Liz 旧下関英国領事館）
一般社団法人メディカルアロマリンパケア協会

■支援企業・支援団体

大和証券株式会社　医療法人吉利医院　株式会社エフケイエス
明治安田生命保険相互会社　日本カニゼン株式会社
下関東ロータリークラブ　株式会社大昌運輸　有限会社伊藤重光堂薬局
みらくるま～ち　西中国信用金庫かじくり支店　マックスバリュ西日本株式会社
税理士法人フォートレス河井事務所　株式会社ルナー

■助成金

公益財団法人日本財団

■ボランティア

延べ482名のボランティアの方々に活動を支えていただきました。

■その他の支援（一部掲載）

2022年度も皆様の活動を支えていただき
ありがとうございました

2022年度 皆繋収支報告

2022年5月～2023年4月

（単位：円）

科目		金額	
Ⅰ 経常利益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	210,000		
賛助会員受取会費	25,000	235,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	2,002,556	2,002,556	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	9,656,000	9,656,000	
4. 事業収益			
売上高	829,926	829,926	
5. その他収益			
受取利息	31		
雑収益	112,470	112,501	
経常収益計			12,835,983
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料相当	5,840,601		
ボランティア評価費用	11,000		
法定福利費	757,161		
福利厚生費	21,199		
人件費計	6,629,961		
(2) その他経費			
仕入高	1,655,330		
合計	1,655,330		
売上原価	1,655,330		
印刷製本費	177,516		
旅費交通費	89,246		
通信費	301,475		
消耗品費	378,708		
広告宣伝費	453,038		
水道光熱費	418,470		
地代賃借	270,000		
減価償却費	2,600,248		
保険料	22,764		
諸会費	13,100		
租税公課	260,900		
什器備品	177,910		
支払寄附金	65,396		
雑費	1,165,534		
その他経費計	8,049,635		
事業費計		14,679,596	
2. 管理費			
(1) その他経費			
印刷製本費	118,343		
通信費	94,811		
広告宣伝費	194,159		
諸会費	7,500		
支払手数料	114,992		
その他経費計	529,805		
管理費計		529,805	
経常費用計			15,209,401
当期経常増減額			△ 2,373,418
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 2,373,418
当期正味財産増減額			△ 2,373,418
前期繰越正味財産額			53,368,923
次期繰越正味財産額			50,995,505

皆繋の歩み

2013	社会保障、社会的孤立に関する調査を開始
2016	**NPO法人皆繋　設立**
2017	『レモネードプロジェクト』発足
2018	包摂的地域交流拠点（ICS）『こみゅすぽ安岡』開所
	『オレンジサンタプロジェクト』発足
2019	子どもの未来応援『コーズマーケット2019』開催
2020	新型コロナウィルス感染症緊急支援
2021	認定NPO法人の認定を受ける
	『みんなの食堂アプリ』開発
2022	包摂的地域交流拠点（ICS）子ども第三の居場所『みんなの家、ICS垢田家』開所
	下関市と業務委託契約を締結 『下関市 子どもの居場所支援事業』始動
	林兼産業株式会社と連携協定を締結
	『WELCOME BABY PROJECT』発足

みんなの食堂アプリ
(GooglePlay)

役員紹介

代表理事		
	林　　陽一郎	株式会社ルナー代表取締役社長
副代表理事		
	久津摩　和弘	一般社団法人日本地域福祉ファンドレイジング ネットワークCOMMNET理事長
理事		
	岩田　総一郎	山口合同ガス株式会社
	倉重　孝亮	Hair gleam社長
監事		
	加藤　和博	税理士法人カント代表

STOP THE LONELINESS

誰もがひとりぼっちにならない社会へ

寄附の受付

■お振込み

山口銀行　本店営業部　普通預金　5179414　エヌピーオーホウジンミナツナギ
ゆうちょ銀行　15560　25908801　トクヒ）ミナツナギ

■オンライン

皆繋 寄附

皆繋とつながる

FACEBOOK　INSTAGRAM　TWITTER　LINE

認定NPO法人

【HEAD OFFICE】

〒759-6615 山口県下関市大字冨任91番地

083-262-1755　083-262-1760

minatsunagi@gmail.com

https://www.minatsunagi.org

【TOKYO OFFICE】

〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目15-1 GRAVA201

【SHIMONOSEKI BRANCH OFFICE】

〒751-0842 山口県下関市新垢田南町1-11-11 ICS垢田家

083-227-3201　083-227-3202